

抽選運はいかに？



「クイーンズクラ イマックスは 枠番抽選のガラ ガラが楽しみ」と話す藤原菜

希。実はガラガラ抽選は、ファン感謝3Daysで一度経験しているとのことだが「その時はボロボロでした(笑)」とあまりいい思い出はないようだ。それでも「ガラガラで優勝の運命が決まるなんて最高じゃないですか」と目を輝かせる。「レースよりも私の抽選に注目していくてくださいね!」。ガラガラの機会はトライアル2、3戦目の2回。藤原が回す抽選器からは、一体何色がこぼれ落ちてくるのか、要注目だ。

自己アピール中!



佐賀支部はキャラが濃い。峰竜太を筆頭に、宮地元輝、定松勇樹、山田康二、

高田明と、口ケ慣れた面々がいい味を出している。そんな中、存在感を出したいのが梶山涼斗。甘いマスクで人気上昇中の梶山だが、取材に不慣れなせいか、みんなの輪になかなか溶け込めず、峰らも「もっと自分を出して!」との声が飛んだ。

するといきなり「佐賀支部でアイドルをやらせてもらっている梶山です!」と挨拶。これには全員が「いいの、持っているじゃん」と大笑い。梶山が大ブレイクする日も近い!?

レースより大忙し



11月が絶賛F休み中だった西山貴浩。グランプリ出場を控え、いいリフレッ

シユ期間に当てたいところだったが、トークショーなどイベントごとに引つ張りだこ。「えっ、今日が小倉競輪でしょ? 明日が下関でしょ? その次の日は...」と、連日大忙し。それでも「ファンや業界が盛り上がるためなら、何でもやりますし、どこでも行きますよー」とさすがのサービスピ精神。おまけに「この期間のギャラを賞金に入れてくれたら、グランプリ2ndから行けたかもね」だって。えっ、そんなに稼いでるの?

毎年出てくたさい!



毎年人気の女子レーサーカレンダーが今年も発売。グラビアのオフショットや

ピット内での写真など盛りだくさんで、新たに作製した卓上カ

レンダーも好評を博している。そんな中、本誌グラビアにも登場してくれた松尾怜実が「あの...」と申し訳なさそうに話しかけてきた。「カレンダーを5部購入したいんですが、いいですか?」。もちろんOKですよ。でもそんなに何に使うの? 「家族みんなとおじいちゃんおばあちゃん分です。載るのが今年で最後かもしれないので...」。いやいや、来年以降も使わせていただきますよ!

埼玉トップのシンクロ



クイーンズクラ イマックス連覇に挑む浜田亜理沙。昨年、タイトルを獲得して何

か変わったことはあったか聞いてみた。「私自身は何も変わってないですが、周りの目が変わったかもしれないですね」。んっ!? この言葉、どこかで聞いたことがあると思ったら、同支部の先輩である桐生順平がグランプリを勝った後、全く同じことを言っていたのを思い出した。申し合わせたわけではないだろうが、トップレーサーになると同じような心境になるのかもしれない。

師弟の熱意

社会貢献活動にも熱心に取り組



む長嶋万記。その熱意は周りにもどんどん波及しているという。「後輩の森下愛梨が能登半島に寄付をした

いと言いついたので、その場にした仲間でも1着を取ったら3千円、2着は2千円、3着は1千円を寄付し合うことになったんです。もちろん戦う時はライバルなんですけど、少しでも多く寄付をしようと、激しく追い上げたりする仲間を見ていると温かい気持ちになりました」と長嶋。何年も活動を続けてきた長嶋の姿勢は、後輩たちにも確実に受け継がれているようだ。

ドキドキの弟子入り



デビューして3年半が経過した宮崎安奈は10月に佐藤翼に弟子入りしたばかり

り。佐藤が練習に来た時に見てもらい、的確なアドバイスももらって、ずっとお願ひしたいと思っていたという。「断られたらどうしようと思って、実は1年ぐらいい悩んでたんです。告白するのと同じくらいドキドキしながらお願いしました。そうしたら『一緒にがんばろっか』と承諾してもらいました」と乙女な一面をのぞかせた。すると早速効果が現れたのは師匠の

すいぞ津の指定席!



11月3日にリニューアルした津の指定席。4階と5階のフロアを丸ごとリフォームした大規模なもの

で、どの席を利用していても非常に快適。このために本場を訪れたいと思うほど、居心地が良く、舟券もバンバン当たりそうな気になってくる。様々なおすすりポイントはあるものの、中でもイチ押しは5階のスイートルーム。「各部屋のデザインやコンセプトが違うので、利用するたびに違った感動が味わってもらえると思います」とのこと。一方、苦勞した点を聞くと「調度品が納期に間に合うかどうかヒヤヒヤしました。全てオーダーメイドなので、想定よりも時間がかかって...。細部までこだわり抜いた施設になりましたので、ぜひご利用ください」とアピールもしてくれた。